

株式会社三菱UFJ銀行 名古屋ビル



外観

名古屋の中心部、栄。繁華街の大通りに位置し、旧東海銀行本店の跡地に建設された「三菱UFJ銀行 名古屋ビル」。ガラスウォールが印象的な重厚な外観を誇る。



10Fトイレ入口

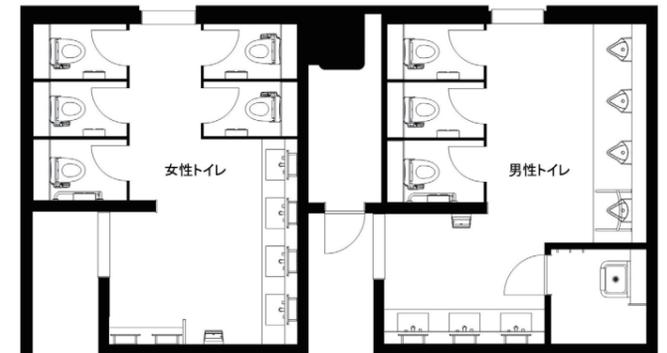
ビル全体でビクトサインのデザインを統一。落ち着いた雰囲気の中、わかりやすくトイレ入口がガイドされている。



10F男性トイレ
洗面コーナー

間接照明がタイルに陰影を付け、上質な雰囲気を醸す、洗面コーナー。水栓は、非接触で冬場でも温かいお湯で手洗いのできる、自動水栓一体形電気温水器を採用している。

トイレ図面



10F男性トイレ
小便器コーナー

間接照明で照らされたタイルの立体感が印象的な小便器コーナー。手前の小便器には1ヶ所、手すりが設置されており、さまざまな身体状況に対応できるように配慮されている。



10F男性トイレ
大便器コーナー

小便器の向かいあわせに大便器コーナーを配置。通路の突き当りの壁面に間接照明を当て、空間の広がりを出している。



10F男性トイレ
大便器ブース

トイレの入口から一番近いブースにのみ、I型手すりを設置。また、大便器のライニングは、奥行250mmが確保されており、バックなどの手荷物が置けるように配慮されている。

水まわりの特長

建物の特徴

名古屋の中心部、栄。1961(昭和36)年に竣工された旧東海銀行本店の跡地に建設された「三菱UFJ銀行 名古屋ビル」。再生可能エネルギー由来の電源を活用し、カーボンニュートラルを目指す、グループの象徴的なビルとなる。オフィスは、ロッカーを廃止したり、フリーアドレスの座席にするなど、昨今の柔軟な働き方に対応できるように配慮。また、オフィス内の随所に、近隣の地元木材を積極的に採用するなど、ワーカーの快適なオフィス環境を実現すべく、温かみのある雰囲気の空間に仕上げられている。グループ企業の中部地方を統括するオフィスフロアとともに、1Fには貨幣・浮世絵ミュージアムや外部テナントを誘致するなど、地域活性化にも貢献していく拠点として位置づけられている。

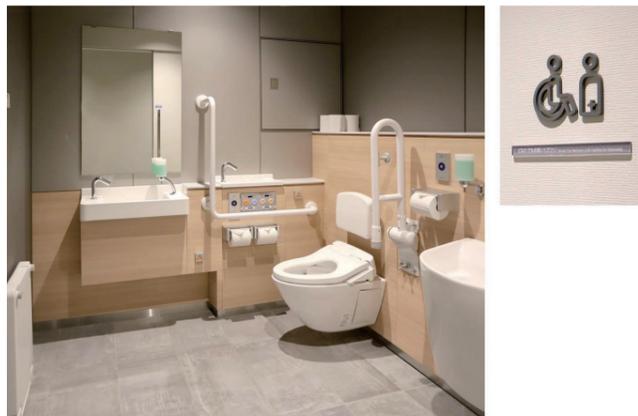
水まわりの特長

水まわりについては、機能性や利用者の快適性が確保された器具を選定。トイレの内装は、木とタイルといった自然素材を随所に使用。温かみのある落ち着いた雰囲気を演出。大便器ブースの背面や小便器コーナー上部壁面、洗面コーナーの壁面などに用いられた凹凸のあるタイルは、照明の効果により空間に上質な趣きを感じさせる。またバリアフリートイレは、あえてトイレ名称を掲示せず、ビクトサインのみで利用者を表現。どなたでも利用ができるトイレと位置づけ、車いす使用者やオストメイトだけでなく、性的マイノリティを含めた幅広い利用者を想定したトイレとして整備されている。



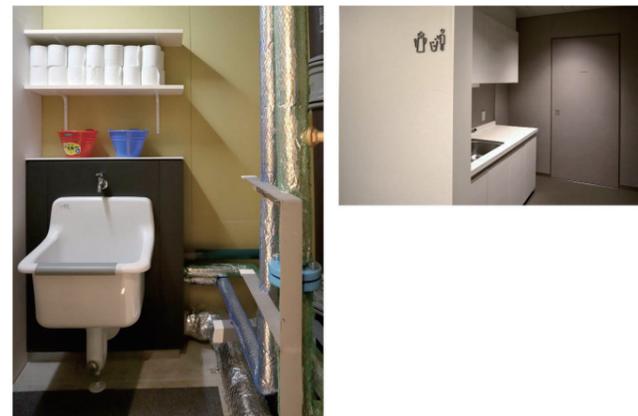
10F女性トイレ
洗面コーナー

洗面コーナーの横には、スタイリングコーナーを設置。スタイリングコーナーには、160mm(上段)、260mm(下段)と上下2段の棚が設けられ、さらに手荷物の大きさに応じて使いやすい奥行きを確保している。



10Fバリアフリートイレ

「バリアフリートイレ」は、あえて名称は掲示せず、ビクトサインのみで利用者を表現。どなたでも利用ができるトイレと位置づけ、障がい者だけでなく、性的マイノリティを含め、幅広い利用者を想定し整備している。



10F給湯室・SKコーナー

十分なスペースが確保された給湯室。SKコーナーは、パイプスペースを兼ねており、兼用することでトイレスペースを効率的に確保でき、保守点検も行いやすくなっている。

建築概要

名称	株式会社三菱UFJ銀行 名古屋ビル
所在地	愛知県名古屋市中区栄町3-21-24
施主	株式会社三菱UFJ銀行
設計	N3計画三菱地所設計・日建設計・伊藤建築設計事務所 設計監理共同企業体
施工	大林組・徳倉建設・名工建設・矢作建設工業 特定建設工事共同企業体
竣工年月	2021年7月
敷地面積	5,221.47㎡
建築面積	4,405.85㎡
延床面積	48,489.05㎡
構造・階数	鉄骨造(地上)、鉄骨鉄筋コンクリート造(地下)・ 地上10階、地下2階

おもなTOTO使用機器

大便器ユニット:UTNCAB/ウォッシュレットP:TCF587
 棚付二連紙巻器:YH701/小便器ユニット:UTNUBN
 洗面器ユニット:UTNLCC特/掃除用流しユニット:UTNSAA
 多機能ユニット:UTNDNC/パブリック用手すり:T112C8、T112CU22